

令和5年度 第2回幸田町総合教育会議 次第

日 時 令和5年11月2日（木）

午前9時から午前9時50分まで

場 所 幸田町役場4階 第3第4委員会室

1 町長挨拶

2 教育長挨拶

3 議題

(1) （仮称）幸田町郷土博物館の建設について

(2) 子育て応援・家事サポート事業について

令和5年度 第2回幸田町総合教育会議 名簿

○ 総合教育会議 構成員

職 名	氏 名	備 考
町長	成 瀬 敦	
教育委員会 教育長	池 田 和 博	
教育委員会 委員	伊 藤 秀 雄	教育長職務代理者
教育委員会 委員	壁 谷 昭 代	
教育委員会 委員	中 西 雅 俊	
教育委員会 委員	穂 吉 沙 織	

○ 構成員以外の出席者及び事務局

職 名	氏 名	備 考
副町長	大 竹 広 行	
企画部長	成 瀬 千 恵 子	
企画政策課長	柴 田 淳 一	
企画政策課主幹	石 川 純 子	政策グループ
住民こども部長	三 浦 正 義	
こども課長	鈴 木 雅 也	
教育部長	菅 沼 秀 浩	
学校教育課長	山 崎 二 朗	
学校指導担当課長	小 嶋 智 香	
学校教育課主幹	近 藤 京 子	庶務グループ
教育部次長兼 文化スポーツ課長	夏 目 守 雄	

令和5年度 第2回幸田町総合教育会議 座席表

日時：令和5年11月2日（木）

午前9時から

場所：幸田町役場 4階

第3第4委員会室

町長	教育長
----	-----

出入口

中西委員
穂吉委員

伊藤委員
壁谷委員

住民こども 部長	企画部長
-------------	------

副町長	教育部長
-----	------

こども課長	企画政策 課長
-------	------------

学校教育 課長	文化 スポーツ 課長
------------	------------------

	企画政策課 主幹
--	-------------

学校指導 担当課長	学校教育課 主幹
--------------	-------------

出入口

傍聴席	傍聴席
-----	-----

(仮称) 幸田町郷土博物館の建設について

教育委員会文化スポーツ課

1 建設検討委員会

役職	区分	氏名	所属団体等
委員長	有識者/地元関係者	黒柳 孝夫	愛知大学 名誉教授
委員	有識者	荒井 信貴	愛知学院大学 講師
委員	有識者	神谷 浩	徳川美術館 副館長
委員	有識者	武村 雅之	名古屋大学減災連携研究センター 教授
委員	有識者	岩下 英司	町立深溝小学校 校長
委員	庁内関係部署	池田 和博	町教育委員会教育長

2 幸田町郷土資料館における課題

- (1) 現在の幸田町郷土資料館は、開館から46年が過ぎ、老朽化、バリアフリー対応の不足、トイレが男女共用、入館に際してスリッパへ履き替えなくてはならないなど、**来館者の快適な滞在に困難がある状況**です。
- (2) 博物館施設として重要な機能である収蔵（資料の収集と保管）や展示において、十分なスペースがない、温湿度管理や照明の管理を適切に行うことができないなど、**博物館として大きな課題を抱えています**。
- (3) 施設内に資料を保存管理するスペースがないため、貴重な資料の収集・保存が難しく、**幸田町の歴史を伝える資料の散逸・消失のリスクを抱えています**。また、機能的な不足・不備により、他館等から資料を借用し、**町民の皆様に見ていただく機会を設けることができない状況**です。
- (4) 町内の児童・生徒の来館にあたり、施設内に十分なスペースがないことから、**資料説明やワークショップ等の教育普及活動を行うことができない状況**です。



----- 以下、新博物館基本構想（検討案）抜粋 -----

3 建設予定地

新博物館は、ハピネス・ヒル・幸田を建設予定地としています。

ハピネス・ヒル・幸田は、町民会館、図書館等の文化施設が設置される幸田町の文化の中心地であり、また図書館等との「知の連携」により、より充実した事業活動の展開が期待できます。

4 期待される役割

新博物館は、下記の役割を担うことが期待されます。

(1) 点在する文化資源のハブ機能（歴史・文化の中央センター）

総合的な見地からその価値をわかりやすく、魅力的に発信するハブ機能を担います。

(2) 郷土・幸田町への誇りを醸成する場

次代を担う子どもたちや町民、新たに幸田町に住む人々に対して、幸田町の歴史と文化を理解してもらい、故郷への愛着、誇りを育むための施設とします。

(3) 「出会い」「学び」が幸せにつながる場

- ・ 新博物館では、幸田町の歴史・文化との出会いの機会を多様な形で提供します。デジタルを効果的に活かしながら、実物資料、リアルな体験等、「本物」との出会いと学びにより、豊かな生き方、幸せにつながる場とします。
- ・ 新博物館は、幸田町ゆかりの文化財等（重要文化財等）を展示公開できる公開承認施設の機能を有する施設とします。

4 基本理念

期待される役割を担う施設として、新博物館は下記を基本理念とします。基本理念は、施設の事業活動や建築、展示の計画や設計、運営体制等において中核となるものです。

幸田の歴史と今を再発見し、みんなが幸せになる未来を探求する

5 主な事業活動

収集・保存	○ 幸田町の歴史・文化の理解に必要な資料を収集し、その 散逸・消失を防ぎ、未来への町民共有の遺産として後世に引き継ぎます。
調査・研究	○ 収蔵資料や幸田町内の埋蔵文化財の調査等の 学術的な調査研究 と、新博物館の 事業活動に関する調査・研究 を行います。
展示	○ 所蔵資料や他館からの優れた芸術作品等の借用資料等、 多様な資料を適切な環境下で公開・展示 します。 ○ 具体的には、幸田町の歴史や文化を紹介する「 常設展示 」、多様なテーマで行う「 企画展示 」、町民の文化活動の成果を発表・公開する「 ギャラリー展示 」を行います。 ○ 常設展示では、歴史的な資料や芸術作品等の「 本物 」との 出会いを軸 にしながら、 デジタル（VR、AR、AI等）の効果的な導入 、ハンズ・オン（触れる展示）等、 子どもから大人まで、訪れる誰もが楽しみ、理解につなげていくことができる展示 を行います。
教育普及	○ 資料や調査研究の成果、展示内容等をふまえ、 遊びや楽しみ、体験を通して、来館者それぞれの発見や理解につながっていく活動 を行います。
情報発信	○ 博物館活動で得られた情報を様々な形で発信し、「来館者」及び来館を前提としない「利用者」に対して、 様々な楽しみや学びの機会の提供と成果の共有 を行います。
広報・コミュニケーション	○ 新博物館の存在や魅力をより深く伝え、来館や連携を促進する 広報・コミュニケーション活動 を行います。 町民の皆様を始め多くの方々に新博物館を知っていただき、関心を持ち、応援していただくため、インターネットやSNS、人的対応を通して行います。

子育て応援・家事サポート事業について

住民こども部こども課

1 子育て応援・家事サポート事業の目的

妊婦や小さな子どもを育てる保護者は、日々の調理や掃除などの家事が大きな負担となっていることから、子育て応援の一環として家事の支援を行う。

2 対象者

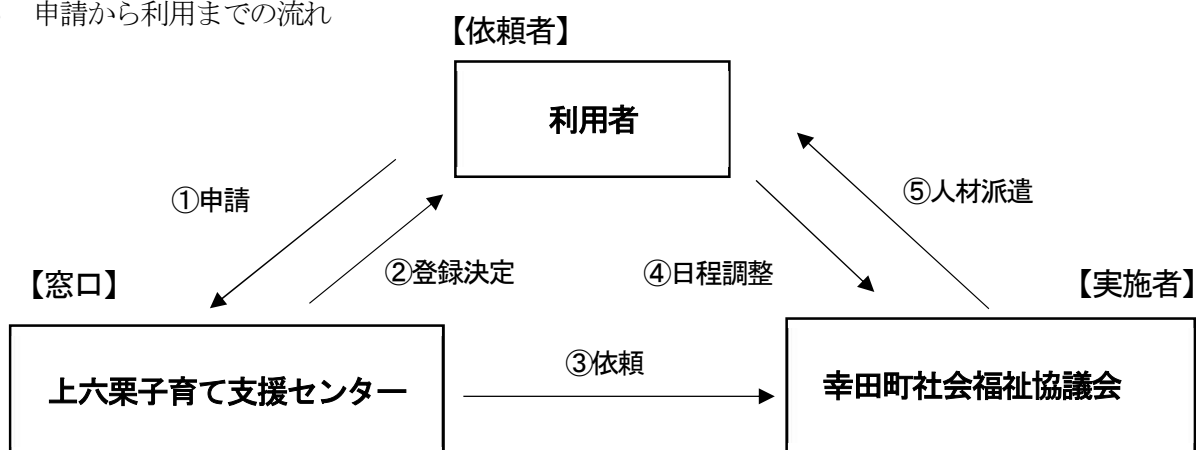
- (1) 妊婦
- (2) 小学校就学前の子どもを育てる保護者
※登録制（登録料は無料）のため、事前に登録が必要

3 受託事業者 幸田町社会福祉協議会

4 家事サポート内容

- (1) 食事の準備及び片付け（調理を含む）
- (2) 衣類の洗濯、衣類の簡単な縫い物、自宅内の清掃、布団干し
- (3) 生活用品の買物など

5 申請から利用までの流れ



- ①利用者が上六栗子育て支援センターへ利用登録申請
※申請は利用希望月の前月15日まで。申請受付は、毎週木曜日
- ②幸田町から利用者へ利用登録の決定を通知
- ③希望する家事支援内容を、上六栗子育て支援センターから幸田町社会福祉協議会へ依頼
- ④決定通知が届き次第、利用者から幸田町社会福祉協議会へ日程調整の連絡
- ⑤日時等決定後、幸田町社会福祉協議会から家事支援を行うヘルパーを派遣

6 利用時間

月曜日～金曜日（午前9時から午後5時までのうち2時間以内）※土日祝日、年末年始は除く

7 利用料金

500円／時間（月4時間まで利用可能）

※生活保護・住民税非課税世帯は利用者負担なし

〈参考〉町負担 1,900円／時間（生活保護・住民税非課税世帯は2,400円／時間）